

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バスケットボール競技

MATCH No. 30B3

開催場所: 飛騨高山ビッグアリーナ
試合区分: 少年男子準々決勝
開催期日: 2012年9月30日 (日)
開始時間: 13:50

主審: 安西 郷史
副審: 塩谷 禎



Team A 北海道	○ 80	18 -1st- 16 18 -2nd- 16 19 -3rd- 11 25 -4th- 21	● 64	Team B 岐阜
---------------	---------	--	---------	--------------

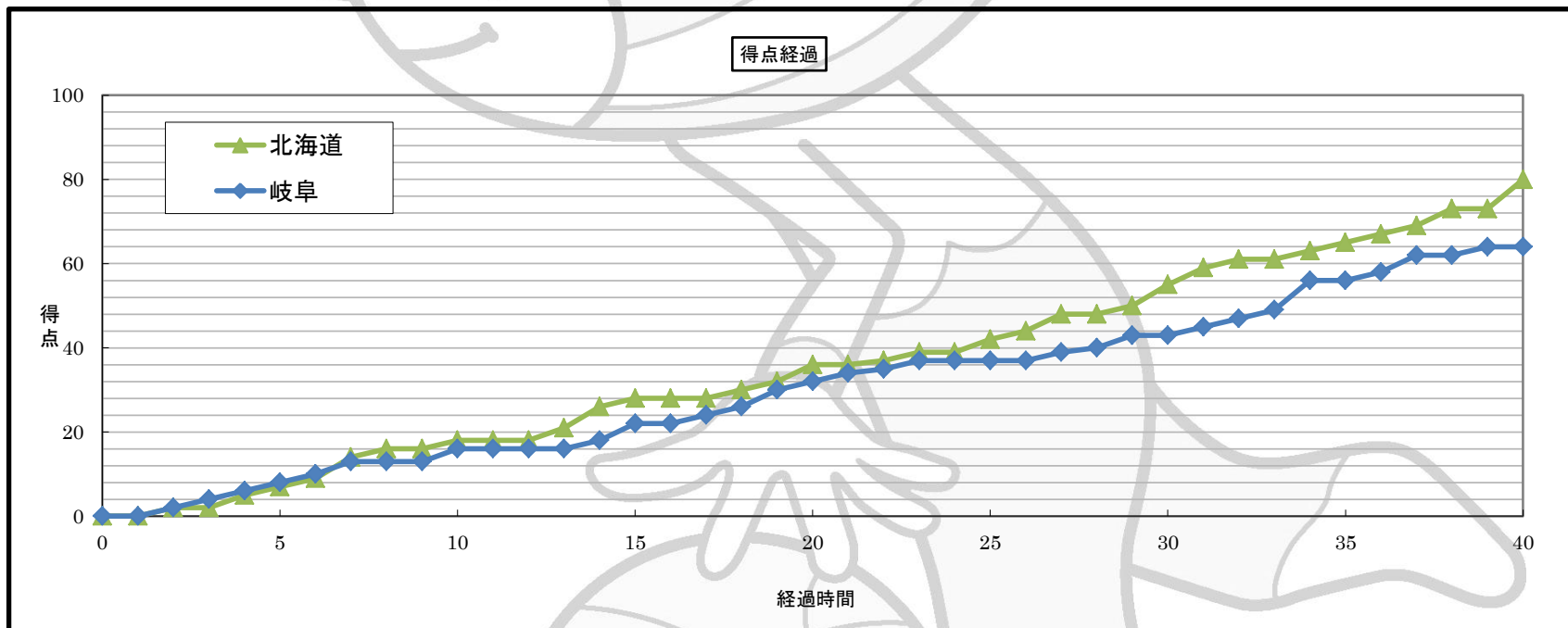
TEAM A		北海道							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	森川 陸(C)	9	1	3	0	4	2	2
5		菅原 一成	0	0	0	0	0	0	0
6		井上 就太	0	0	0	0	0	0	0
7	*	佐藤 智也	0	0	0	0	2	1	0
8		内田 旦人	5	1	1	0	1	1	0
9	*	高橋 耕陽	20	1	7	3	1	5	5
10		熊沢 誠也	4	0	2	0	2	11	0
11	*	三井 啓史	10	1	3	1	5	11	0
12		高橋 裕作	7	0	3	1	1	1	0
13		関野 剛平	6	0	2	2	1	1	0
14	*	高地 秀明	9	0	4	1	1	5	0
15		佐藤 卓磨	10	0	4	2	0	3	0
Coach		長野 雅男							
TOTAL			80	4	29	10	18	41	7

TEAM B		岐阜							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	平佐田 葵(C)	9	0	3	3	3	6	6
5	*	高橋 駿輔	11	3	1	0	1	1	1
6	*	赤土 裕典	21	0	10	1	1	21	1
7	*	黒木 怜雄	13	0	3	7	2	6	5
8		大野 翔一	0	0	0	0	3	3	0
9		谷 憲人	4	0	2	0	1	2	0
10	*	田中 浩一	4	0	2	0	3	4	0
11		坂之下 涼太	0	0	0	0	0	0	0
12		水口 勢士郎	2	0	1	0	0	0	0
13		吉田 健太郎	0	0	0	0	1	0	0
14		武藤 崇正	0	0	0	0	0	0	0
15		酒井 豪	0	0	0	0	0	0	0
Coach		田中 聡							
TOTAL			64	3	22	11	15	43	13

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	35:31	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	25:05	39:00		

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



1Q 両チームともにハーフマンツーマンでスタート。出だしはどちらも動きが固く、ロースコアの滑り出しとなった。北海道は#9を中心に#11のアウトサイドシュートを中心に得点を重ねる。岐阜は#6のインサイドの頑張りで対抗する。岐阜は残り2分、#5が3P決め勢いに乗るかと思えたが、逆に北海道が7連続得点して18-16とし、北海道リードで1Q終了する。

2Q、岐阜はディフェンスを3-2ゾーンに変えるが、北海道は交替した#10や#12が丁寧にパスを廻し、#8、#9がアウトサイドシュートを決めリードを保つ。岐阜は、ハーフマンツーマンに戻し#6、#9がゴール下で頑張り食い下がる。北海道が36-32とリードして前半を終了する。

3Q、北海道はオールコートマンツーマンディフェンスで、相手のガードにプレッシャーをかけてミス誘い、速攻につなげて得点する。北海道が55-43とリードを広げた。

4Q、北海道は選手を頻りに替えて、激しいオールコートマンツーマンディフェンスを続けた。岐阜はドリブルが多くなり、単調なオフェンスとなるものの、#6、#7、#5が気迫のシュートを決め残り3分で67-60と7点差まで詰め寄ったが、なかなかシュートが決まらない。北海道は相手のミスを速攻で得点に結びつけ、80-64と点差を広げて勝利をあげ、ベスト4に進出した。岐阜は地元の大声援に後押しされ、懸命なプレーを続けたが、自分たちのペースをつかむことができなかった。

記載責任者 田口 勢津子 (所属) 岐阜県バスケットボール協会